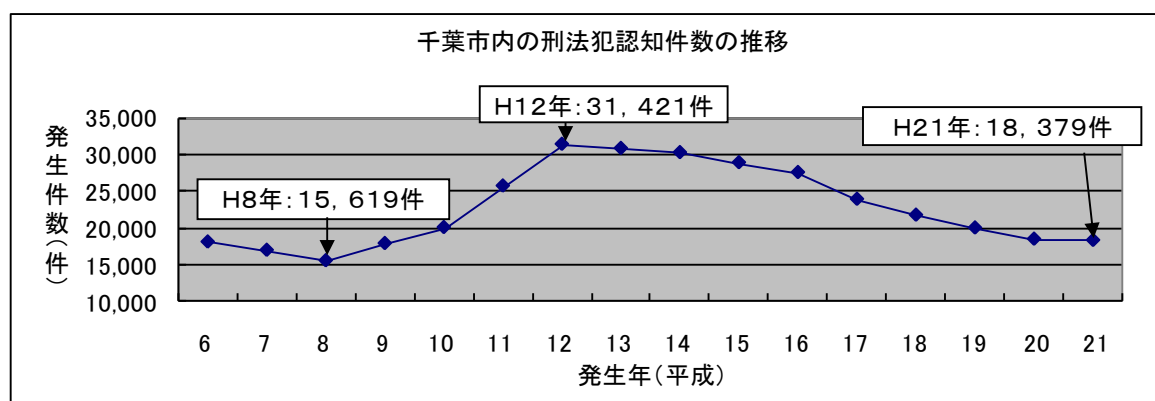


千葉市の防犯対策（抜粋）

第1章 犯罪の発生状況とその特徴

1 犯罪の発生件数の推移

本市の刑法犯認知件数は、平成9年から急激に増加し、平成12年に最多を記録しました。その後、官民一体となった様々な対策により、9年連続で減少していますが、その減少幅を見てみると、ここ数年低下しております。



平成21年中の刑法犯認知件数は、18,379件であり、前年比で1,644件減少しております。

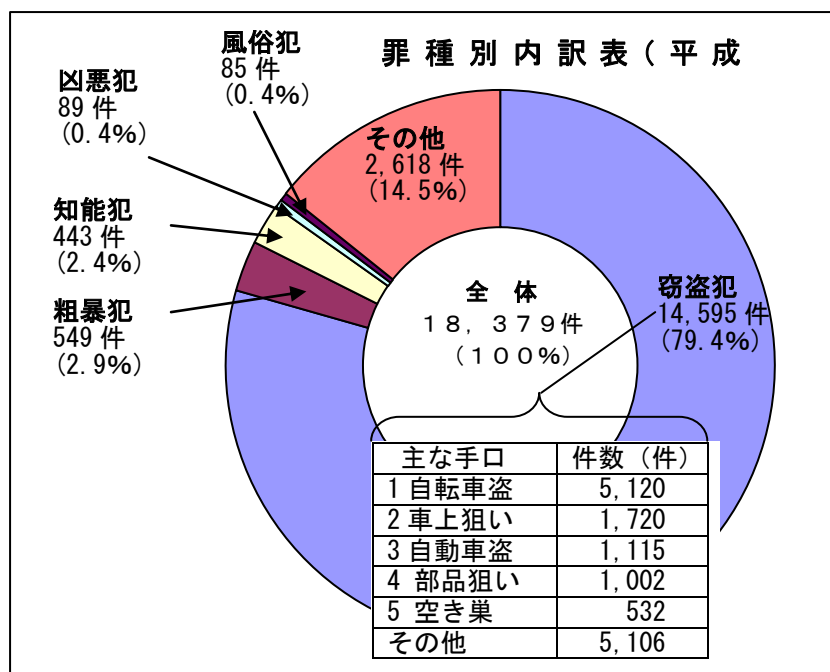


2 犯罪の特徴

罪種別にみると、平成21年では、全体の約8割は窃盗犯が占め、昨年に多く発生した振り込め詐欺を含む知能犯については、443件で前年比440件減少しております。

主な窃盗犯罪の増減件数は、自転車盗983件増加、自動車盗272件増加、車上ねらい162件減少、空き巣188件減少、ひったくり156件減少となっております。

窃盗犯の中でも、特に刑法犯認知件数の全体の約3割を占める自転車盗や自動車盗、車上ねらいなどの市民生活の身近な場所で発生するいわゆる「街頭犯罪」が件数を押し上げる要因となっており、これらの犯罪を抑止することが喫緊の課題であります。



窃盗犯：自転車・自動車盗、
車上ねらい等

知能犯：詐欺（振り込め詐欺
等）、横領等

粗暴犯：暴行、傷害等

風俗犯：賭博、わいせつ

凶悪犯：殺人、強盗等

その他：住居侵入、器物損壊
等上記に掲げるもの
以外の刑法犯

※ 数値は、県警発表による
暫定値

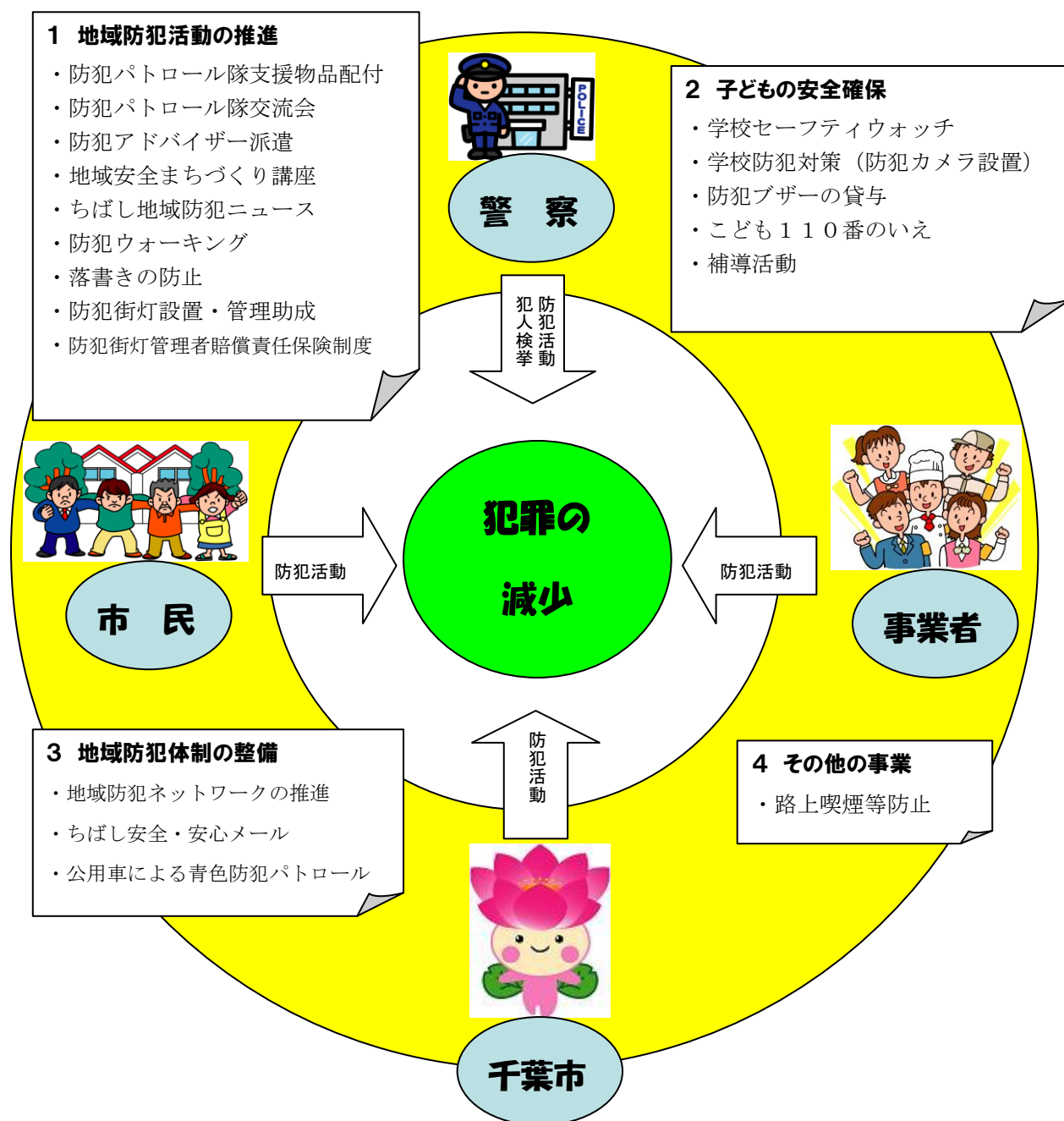
第2章 犯罪の減少に向けて

本市では、犯罪の減少に向けて、様々な事業を展開しています。

大別すると、地域の防犯活動を推進する事業（1 地域防犯活動の推進）、子どもを犯罪から守る事業（2 子どもの安全確保）、市民、事業者、警察と連携して行う事業（3 地域防犯体制の整備）、（4 その他の事業）に整理されます。

ここでは、本市で行っている事業を紹介します。

市内で行われている防犯活動のイメージ図



1 地域防犯活動の推進

平成16年の刑法犯認知件数は27,590件ありましたが、各地域で防犯パトロール隊が結成されるようになり、地域防犯活動が活発になると、刑法犯認知件数は減少してきております。

このことから本市といたしましては、地域防犯力を高めるため、市民の防犯活動を支援する取組みを行っております。

